

-----8月3日-----

今週のアウトルック(8/3~8/7)

相変わらず動きづらい展開が続いています。
先週は大幅なNYダウの上昇があったため、かなり引きずられてしまった感じが強いです。それにしても日替わりでリスク回避とリスク選考の動きが変わるような状況で、ポジションを取りづらい展開が続きます。

ドル円は終わってみれば、94円から96円の間で収まってしまいう狭いレンジ内での動きでした。NYダウがこれだけ大きく動いてもボラティリティが上がらない状況を考えますと、トレンドが一方向に動く準備をしているかのような雰囲気を感じます。

個人的な意見としてはドルが大きく売られる時期が再び来るように考えています。ただ、米国雇用統計などに大きなサプライズがなければ、今週はまだそれほど大きくは動かないように思います。予想レンジは93円から96円を考えています。

ユーロ円は今週もNYダウの影響を強く受けそうです。
ただ、NYダウもここからの更なる力強い上昇も考えづらいため、今週は方向感の出にくい比較的狭いレンジに落ち着いてしまうのではないかと考えています。132円から136円あたりを考えています。

ポンド円は160円を抜くことは、大きなサプライズがない限り難しいのではないかと考えています。レンジ的な動きを継続すると考えれば153円から159円の間で収まってしまう可能性が高いと考えています。

今週は米国の雇用統計を控えています。

予想よりも大きく改善されていけば、景気の底固めを裏付ける結果となり、NYダウの上昇速度を加速させ、為替も一気にリスク選考一色となってしまう可能性もあります。

また、反対に予想よりも悪い結果となれば、NYダウの楽観ムードが一気に冷めてしまう可能性も否定できないと思います。その場合、ドル安よりもクロス円安の状況が強くなるように考えています。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。